

下野新聞
認知症カフェプロジェクト
過去の特集はこちら！



Vol.30 とちぎオレンジガイドンス

本年度の認知症カフェプロジェクトのテーマは「認知症のこれまでとこれから」です。昨年11月24日、那須赤十字病院(大田原市)で「もの忘れ外来」を開設する伊藤雅史脳神経内科部長が「もの忘れ外来と医療現場からみる認知症について」と題して、宇都宮市のベルヴィ宇都宮で対談しました。聞き手は認定社会福祉士の永島徹さん(佐野市) 企画制作/下野新聞社ビジネス局

下野新聞 認知症カフェ プロジェクト2024



認定社会福祉士、日本認知症ケア学会理事

永島 徹氏

永島 長年認知症患者と向き合ってきた。須赤十字病院で「もの忘れ外来」を開設して、どのような経緯で認知症に関わるようになったのか。

伊藤 大学では神経免疫の研究をしていました。急性期疾患の治療にやりがいがあったのですが、もともと患者とゆっくり時間をかけて話をしたり年配の方が好きだったりしたので2005年、獨協医大に認知症センターが開設された際に外来担当の一人として運営に携わりました。その後、宇都宮市内の病院で「もの忘れ外来」を開き、19年から那須赤十字病院脳神経内科に勤務しています。

不安が怒りを誘発

永島 「親や配偶者が忘れっぽくなったことが、認知症かもしれない、どうしよう」と思った時に、家族はどうすればいいですか。伊藤 病院へ行くことは大切ですが、まず考えていただきたいのは、もの忘れになつてきた親、配偶者がどのような生活を送っているか、知ることで



那須赤十字病院 脳神経内科部長

伊藤 雅史氏

者として向き合ってきた。須赤十字病院で「もの忘れ外来」を開設して、どのような経緯で認知症に関わるようになったのか。

伊藤 新薬の発売がニュースになり、患者から新しい情報についてどんな質問を受けるようになったか。

ただ残念ながら認知症に注目が集まっているにもかかわらず、地域によって医療に差が生まれている。医療従事者や介護職など専門職の連携や勉強会、専門病院である認知症疾患医療センターの有無などです。患者はどの地域にもいますが、医療圏としてばらつきや差があると感じます。

また「さっき言ったでしょう」「何回言ったら分かるの」と怒鳴ってしまうこともあるでしょう。でもそれは患者には酷な言葉なのです。何回も聞いてくるということは患者が確認する努力をしていることです。いつか脳の機能がかなり落ちたか、何回も聞いて何となくしよ

うと頑張っている患者を支援しようと思えます。介護は大変です。伊藤氏

永島氏 ますます重要な連携／医療圏でばらつきも 伊藤氏



看護・介護専門職や認知症患者家族が参加したオレンジガイドンス

と頑張っている患者を支援しようと思えます。介護は大変です。伊藤氏

永島 介護職員の人手不足が深刻です。伊藤 報酬や待遇など介護の在り方全体を見直す時期にきています。患者の家族にできることは、介護職のありがたさをきちんと認識し感謝することです。介護職は大変な仕事ですが、患者や家族の感謝の気持ちがあるモチベーションになっているのは間違いありません。

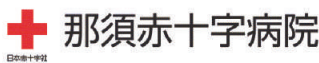
つながりが大切に

が「なんとなくかなるさ」とゆるく構えることも大事です。

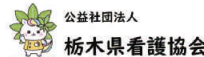
栃木県産 とうもろこし (約280g×2パック)
30名様にプレゼント

応募方法 はがきに郵便番号、住所、氏名、年齢、性別、電話番号、紙面の感想などを添えて320-8686下野新聞社ビジネス局「とうもろこし」係まで応募してください。1月31日消印有効。賞品の発送をもって発表とします。応募いただいた個人情報は、賞品発送・意見分析・下野新聞社主催および後援事業のご案内に使用させていただきます。【下野新聞社ビジネス局】

私たちは「下野新聞認知症カフェプロジェクト」を応援しています。



企画協力



応援医療機関

赤羽医院、宇都宮リハビリテーション病院、皆藤病院、新宇都宮リハビリテーション病院、杉村病院、長島医院、那須南病院、根本医院、真岡中央クリニック、両毛病院

下野新聞認知症カフェプロジェクト プレゼンツ とちぎオレンジゴルフコンペ

※プレー費などは別途かかります。
コンペ参加費無料! 参加者全員に賞品あり!

開催会場 2025年3月26日(水) 参加人数150名
鹿沼72カントリークラブ
栃木県鹿沼市楡木町1475 TEL:0289-75-2111

スタート時間 各組のスタート時間は主催者で決定後、申込者(代表者)にメールにて通知いたします。

プレー費	大人 6,000円	会員 5,400円
参加費無料	ジュニア 4,800円	税込み・ゴルフ振興基金込み・昼食・利用税込

※プレー費は当日会場にて支払い。
※ジュニアのみの組は保護者のカートボランティアをお願いします。

申込期間 2025年1月下旬～3月7日(金)まで

主催 下野新聞認知症カフェプロジェクト

開催目的 いわゆる団塊の世代が75歳以上を迎える2025年には、65歳以上の高齢者の5人に1人が認知症であるという推計があります。また、認知症については、高齢者だけではなく、65歳未満で発生する若年性認知症も問題視されており、今後、日本において、認知症がますます重要な問題になっていくことは明らかです。そこで、弊社では、誰もがなりうる認知症に対して、認知症を知ること、認知症に対する不安や恐怖、偏見を取り除き、認知症に対する県民への理解を深める普及啓発の推進を図るため「下野新聞 認知症カフェプロジェクト」を展開しています。本大会はプロジェクトの一環で開催されます。

協賛 賞品協賛 だちつぎとちぎ JA全農とちぎ NTT東日本 那須赤十字病院 栃木県ゴルフ場協議会加盟ゴルフ場・栃木県ゴルフ連盟

お問合せ 下野新聞社 ビジネス局 ビジネスプランニング部 TEL:028-625-1104(平日10時～17時)

申込方法 上記二次元バーコードよりお申し込みください。

参加資格 県内に在住、在勤及び、栃木県ゴルフ場協議会加盟クラブの会員でラウンド経験がある小学生以上でオレンジリング及びオレンジの色の衣服・小物を身に付けていること。

賞品 入賞者に協賛社より賞品を進呈。参加者全員に参加賞有。

競技方法 18Hストロークプレー、ベリア方式、ハーフ集計

お申込みフォームはこちら!

<https://is.gd/BFJT5X>

まごころで、みんなが愛せる未来へ。

社会課題の解決に向かって、朝日生命にできることをこれからも。

人生100年時代に、さらなる安心を。より良い社会をつくる取組みを、着実に進めながら。

もっとひろく、もっと先まで。お客様の人生に心を込めて寄り添いつづける。みんなが愛せる未来のために。